

各検診を受ける前に必ずお読みください

- ✓ 検診により精密検査が必要となった場合、必ず精密検査を受けましょう。(保険診療扱いです)
- ✓ 検診はスクリーニングです。自覚症状など気になることがある場合は、検診日を待たずに早めに医療機関を受診しましょう。
- ✓ 治療中の方の受診については、かかりつけ医にご相談ください。

がん検診、その他の検診

〈問合せ〉健康づくり推進課 TEL 221-1579

●子宮頸がん検診(20歳以上女性)

2年に1回受診できます。
子宮の入り口にある細胞を採取してがん細胞の有無を調べます。

●胃がん検診(35歳以上)

バリウムを飲んでレントゲン写真を撮る検査、または胃カメラによる内視鏡検査の**2つからどちらか選択**できます。
※内視鏡検査の結果、精密検査を引き続き実施した際の費用は保険診療になり、自己負担金とは別に追加費用が必要となります。

●大腸がん検診(40歳以上)

便を2日間採取し、出血の有無を確認する検査です。食事制限もなく簡単に受診できます。

●前立腺がん検診(50歳以上男性)

前立腺から分泌されるタンパク質の一種であるPSAの値を血液検査で調べます。

●骨粗しょう症検診(30歳以上女性)

エックス線や超音波で骨の密度を調べます。

●乳がん検診(40歳以上女性)

2年に1回受診できます。
マンモグラフィ検査(乳房をはさんでレントゲン写真を撮る)と視触診による検査です。

●歯周病検診(40歳以上)

口の中を診て、歯周ポケットなどを検査し歯周病の有無を調べます。
※集団歯周病検診申込方法は、自治会回覧板等で日程を案内しますので、静岡歯科医師会または清水歯科医師会にお電話でお問合せください。(16ページ参照)

●歯ピカ検診(40歳のみ)

2019年度中に40歳を迎える方が対象の検診です。受診券があります(5月上旬頃送付)。
受診券を使って、**歯周病検診を無料**で受診でき、さらに**プラス300円で歯のクリーニング**(歯石等は除去できません)ができる40歳限定のお得な検診です。受診の際は必ず受診券を持参し、検診機関へ受診券を提出してください。
※集団検診では歯のクリーニングは行っていません。

結核・肺がん検診、肝炎ウイルス検査

●結核・肺がん検診(40歳以上)

(1回のレントゲン撮影で結核・肺がんの両方を検査します。)
胸部レントゲン写真を撮ります。必要に応じて希望者には容器代300円の負担で痰(たん)の検査(痰の中にがん細胞が含まれているかどうかを調べる検査)を行います。
※65歳以上の方(S30.3.31以前生まれの人)に受診票が送付されます。
40~64歳の方は受診票はありませんので、身分を証明できるものを持参してください。検診は巡回検診車で日時や場所は市ホームページ、または自治会・町内会を通じてご案内しています。直接会場へお越しください。

〈問合せ〉

結核検診、肝炎ウイルス検査の内容に関すること
保健所保健予防課 TEL 249-3172
肺がん検診(喀痰)の内容に関すること
健康づくり推進課 TEL 221-1579

●肝炎ウイルス検査(過去に受けたことがない人)

血液検査でB型・C型肝炎ウイルスに感染していないかを調べます。
※検査の結果が陽性者の方には、保健所から**医療機関受診の確認**をさせていただく場合があります。

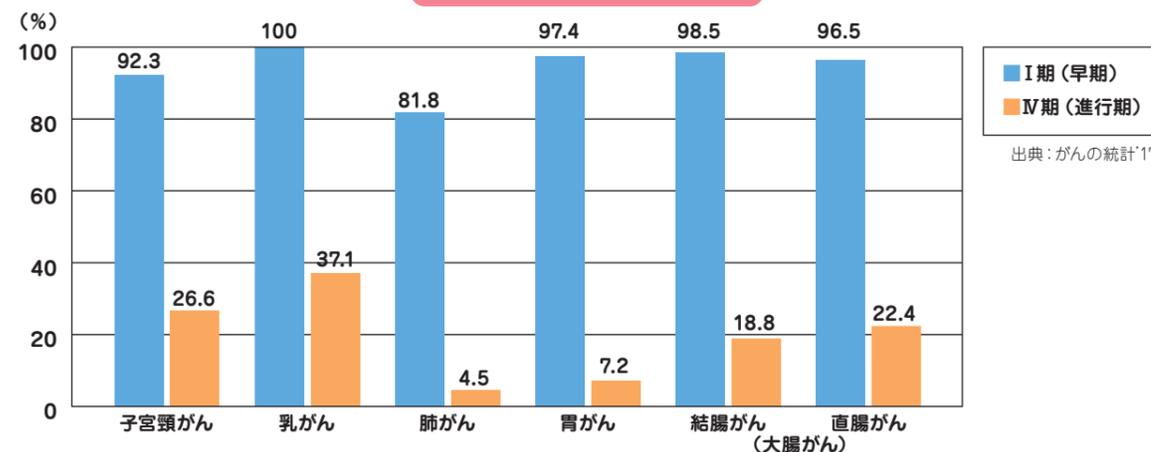
※対象年齢は2020年3月31日時点の年齢です。

症状がないうちに検診を受けましょう!

がんの発見時期によって、5年相対生存率が大きく変わっていきます。早期のがんでは症状はまず出ません。早期にがんを発見するのは、検診の役割です。



5年相対生存率



一生のうちに**2人に1人ががんにかかる**といわれています。
症状がないうちに、定期的に検診を受けることが大切です。

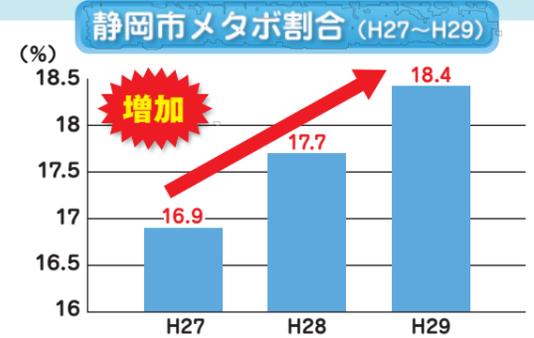
どのような検査でも、100%の精度でがんを見つけれられるわけではなく、また、がんがなくても結果が「陽性」となることもあり、がん検診にはある程度の限界があります。それでも、定期的に検診を受けることで、ご自身の健康状態を把握することはとても重要です。

静岡市国保「メタボ」該当者増加中!

放置すると**脳卒中**や**糖尿病**などにつながる危険があります。



メタボとは? 「内臓脂肪肥満」に加え、「高血圧」「脂質異常」「高血糖」のうち**2つ以上**を併せ持った状態のこと。



症状を発症し、投薬が始まると**高額**の医療費が発生します

1人あたりの医療費の比較(例)高血圧の投薬(降圧剤)の有無別(平成28年度)



※H29静岡市健康度見える化事業による分析

生活習慣病の発症や重症化予防のためには「**自分のからだの状態を知ること**」が重要!
年1回無料で受けられる 特定健診 をぜひご利用ください